

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属三田幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第80号
平成27年10月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-6811(代)

聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.jp/

聖徳大学・聖徳大学短期大学部 第51回 聖徳祭

11月7日(土)・8日(日) 開催

今年度のテーマ 「ひだまり ～一步前進～」

今年度も聖徳大学・聖徳大学短期大学部の聖徳祭を開催します！
テーマの「ひだまり～一步前進～」には、「聖徳祭を『ひだまり』のような温かさにあふれ、世代を問わず、多くの来場者が集まる場にしたい。そして、学生・教職員・来場者一人ひとりが聖徳祭で得た温かい心を持って、自分の信じる未来へ前進していきたい」という願いが込められています。

当日は、華やかな野外ステージ発表、クイズラリー、売り切れ必至の「学生たちによるランチ・ケーキの販売」など、学科ごとの工夫や、学生の日頃の学びを生かした聖徳祭ならではの企画が盛りだくさんです。

ご家族揃って、ぜひお越しください！

地元企業とのコラボ商品も登場！

短期大学部総合文化学科では、千葉興業銀行との共同企画「千産千商」において、企業とのコラボ商品の製造・販売を行います。

11月7日(土) 13:00～ 新フォーマルスーツ ファッションショー(仮称)
14:00～ Happy Homecoming(受付13:30～)

聖徳祭ポスターが決定！

学生から聖徳祭ポスター作品を募集した結果、79点の作品が寄せられました。学友会役員および聖徳祭委員で厳正に審査した結果、社会福祉学科養護教諭コース1年の田中友理恵さん・千葉舞子さんの作品に決定しました。赤のガーベラには「踏み出せ」、オレンジのガーベラには「冒険心」という意味があり、女性が未来に向かって一步前進している姿が今年度のテーマにふさわしい作品です。



学園祭 開催案内

■ 幼児教育専門学校	■ 附属小学校	■ 三田幼稚園
文化祭 11/3(火・祝) 10:00～14:30	第30回 聖徳祭 10/18(日) 8:10～15:00	11/3(火・祝) 10:00～14:30
■ 附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園		■ 八王子中央幼稚園
大学・短大部 第51回 聖徳祭	11/7(土) 10:00～12:30	10/25(日) 10:00～14:30
ステージ発表(川並香順記念講堂)		■ 多摩中央幼稚園
		10/18(日) 10:00～14:30



「それいけ！アンパンマン」「ジュエルベツトていんくる☆」などのアニメの脚本を手掛けた脚本家の島田満先生に「心をはぐくむ 感受性」をテーマに講演を行いました。

午後は十二の分科会に分かれ、講義や体験を通して、各分野の視点から交流を深めることのできる、充実した時間となりました。四十八年続く夏期保育大学は、「保育の聖徳」の総力を結集する企画となっています。

七月二十五日(土)、夏の伝統行事「SEITOKU 夏期保育大学」を開催しました。

今年「これからの保育を考える」を総合テーマに掲げ、保育士や幼稚園教諭を中心に、計四百六十名の方にお申込みいただきました。

午前中は、「それいけ！アンパンマン」「ジュエルベツトていんくる☆」などのアニメの脚本を手掛けた脚本家の島田満先生に「心をはぐくむ 感受性」をテーマに講演を行いました。

午後は十二の分科会に分かれ、講義や体験を通して、各分野の視点から交流を深めることのできる、充実した時間となりました。

性を育てる」と題し、講演いただきました。講演では子どもたちの折れやすい心を強く豊かにするために必要なことを、アニメ作品を引用しながらお話しいただき、また、二十年以上にわたってアニメの脚本に携わる中で培った信念や自身の経験についても話が及び、興味深い内容となりました。

午後は十二の分科会に分かれ、講義や体験を通して、各分野の視点から交流を深めることのできる、充実した時間となりました。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部のオフィシャルキャラクターの愛称が決定しました。



【オレンジ】 挑戦と情熱 **ファイ**
【ブルー】 冷静さと知性 **リーン**

オフィシャルキャラクター 愛称決定！

聖徳大学創立25周年・聖徳大学短期大学部創立50周年

オレンジのキャラクターは「挑戦と情熱」をコンセプトに、ファイとファイヤーにちなんで「ファイ」と命名。



学生スタッフと記念撮影するファイとリーン

ブルーのキャラクターは「冷静さと知性」をコンセプトに、「凛」とした人物像から「リーン」と命名しました。八月二日(日)に開催された聖徳大学オープンキャンパスでは、ファイとリーンが初登場。暑さにも負けず、決めポーズで多くの来場者と記念撮影するなど、会場を盛り上げました。ファイとリーンは今後もさまざまなイベントで活躍する予定です。

INDEX

幼稚園	1
小学部	2
附属女子中・高	3
取手聖徳女子中・高	4
幼稚園	5
小学部	6
附属女子中・高	7
取手聖徳女子中・高	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

アートパーク8 みんなバクハツ宣言

七月十九日(日)、松戸中央公園で「アートパーク8 みんなバクハツ宣言」(主催/聖徳大学児童学研究所、生涯学習研究所)が開催されました。今回で八回目となるアートパークは、雨のため初の延期となりましたが、八百二十二名の親子が集まり、学生とアートな遊びを一日楽しめました。今回は、今まで一番多い十四のワークショップが公園各所で行われ、昨年同様、児童学科・保育科のゼミ生や教員、有志やボランティア、美術部など聖徳学園のメンバーと、地域団体(松戸まちづくり会議、KEYAKIDS、まつど工房、じゅんびしつ、千葉大学園芸学部、木下研究室)が企画・運営を行いました。

また、昨年の経験者である大学四年生と今回新たに保育科II部がおたすけ隊となり、全体のサポートも行いました。

ワークショップの内容は、五メートルを超す段ボール製の「トンデモボール(大成ゼミ)」の周りで絵具遊びを行ったり、「つなげよう! 夢をつめこむペーパーバッグ(北沢・保育科有志+KEYAKIDS)」では、紙袋に自由にお絵描きして公園に吊るしました。いつもと違うカラフルな空間が出来上がり、この作品は、今後地域のお祭り等でも使う予定になっています。音楽の前野ゼミは、お昼に演奏会を開き、親子で楽しみました。



「トンデモボール」(児童学科大成ゼミ制作)

インターンシップで職業体験

「インターンシップ」とは、学生が大学で学んだことを実務に結びつけるため、企業等で社員と一緒に日常業務を体験する制度です。学生のコミュニケーション能力、責任感、問題解決力等、社会人として活躍するために必要な基礎能力を向上させるため、大学では積極的に参加を呼びかけています。今回はインターンシップを行っての学生四名の活動を報告します。



キッザニア東京インターンシップ修了式

「キッザニア東京」は東京都江東区豊洲にある三十五歳の子どもを対象にした、楽しみながら社会のしくみが学べる職業体験施設です。KJC GROUP株式会社が運営し、現在九十種類以上の仕事やサービスが体験できます。今回は聖徳大学文学部文学科キャリアコミュニケーションコース三年の佐藤晴菜さん、竹内英梨香さん、米川真由さんの三名の学生

がインターンシップとして参加。病院、ユーティリティ、カーエリアの三方所で、子どもの職業体験のサポートをしました。学生たちは「自分たちも楽しく仕事ができる」としながら「子どもは繊細なため、緊張のあまり泣き出したり、自分たちの思い通りにならないところが難しい」と、この仕事の魅力と難しさを語りました。受け入れを担当する職員からは「インターンシップであっても、お客様である子どもや保護者に対して正職員と同等のサービスを提供しなくてはなりません」とアドバイス。九月四日(金)に行われた修了式では、三名の達成感に満ちた笑顔が見られました。株式会社ジェイコム東葛

オープンキャンパスにて「音教まつり」を開催

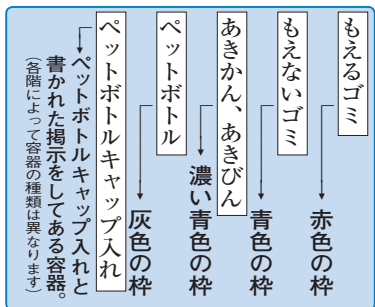
八月二日(日)の大学・短期大学部オープンキャンパスにて、毎年恒例となった「音教まつり」を開催しました。「音教」とは、音楽総合学科にある「音楽教員養成コース」のことです。中学校、高等学校の音楽教員や、小学校教員を目指す学生が学ぶコースです。「音教まつり」は、そんな音楽教員養成コースのすべてが分かる年に一度の「おまつり」で、受験生に大人気の企画です。

在学学生と一緒に合唱する体験授業、在学学生の合唱ステージをはじめ、四年間の学びがよく分かる展示コーナー、教員による受験相談などの開催となりました。体験授業は、松井孝夫先生が作詞・作曲した笑顔を忘れてしまった君にの歌い合わせ。たくさん的高校生が、在学の間に入って音取りから始め、最後には大きな合唱の輪が広がりました。続いて、学年を越えて集結した在学生が自主的に運営する「音教合唱」のステージ。「この合唱を聴いて、音教を受験することに決めました」という高校生もいました。



松井孝夫先生による体験授業

今回参加してくれた高校生たちには、来年、再来年にはぜひこのステージに立つて、同じ夢を追う仲間を見つけてほしいと願っています。



松戸キャンパスでは、学内のゴミ箱が昨年より新しくなり、ゴミの分別方法も以前とは少し変わっています。ゴミの分別表示は左記の通りとなっています。



ペットボトルキャップ引き渡しの様子

本学では、学内美化に努めるとともにゴミを減らす活動にも力を入れ、エコキャップ運動としてペットボトルのキャップを回収する専用のボックスを学内に設置しています。回収されたキャップは業者を経由して、発展途上国の子どもたちにワクチンに換えて寄付されます。それ以外にも、キャップをリサイクルに出すことで二酸化炭素の排出を大幅に削減し、環境保全に貢献することができます。そのほか、学内の清掃業者の方にインタビューをし、学内のゴミの分別方法についてのお話をうかがうなど、毎日の学生生活の中で、学内をきれいに保つことを心掛け、常に清潔感あふれる学内にしていくために、日々活動しています。

〈前期エコキャップ回収報告〉

今回、学友会では、多くの方々のご協力により、リサイクルメーカーを経由して、回収したペットボトルキャップを104本のワクチンに換えて発展途上国の子どもたちへ届けました。

(回収個数73,100個 [170kgのゴミ削減、535.5kgのCO2削減となりました。])

学友会クリーンプロジェクト

学友会では、学内外をきれいに保つための活動として、クリーンプロジェクト(学外清掃、学内美化、エコキャップ運動)を行っています。

危機を乗り越え、再びチャレンジ！ 第六十五回関東大学女子バスケットボールリーグ戦に向けて

聖徳大学バスケットボール部は、昨年度、四部から三部に昇格し、関東大学女子バスケットボールリーグ戦に臨みました。しかし、これまでよりも実力がワンランク上の学校との戦いは、予想以上に苦烈をさわめ、二十四校中十九位という不本意な順位で終わり、四部の上位チームとの入替戦に臨むことになりました。四部降格の危機が迫る崖っぷちの状況でしたが、



が、大一番を見事に制し、三部に踏み留まりました。部員たちの底力は、まさに天晴れでした。八月末から本年度の三部リーグ戦が始まりましたが、捲土重来を期して、九月二日に壮行会が行われました。川並弘純学長、増井三夫副学長、野原八千代学生部長、川並孝純学園事務局長、辻正行大学事務局長、そして学友会会長の齋藤千恵さんからそれぞれ激励の言葉をかけられ、また、学長公認私設応援団長・吉田眞言参与からは、魂のこもった「フレノフレノ」のエールが贈られました。部員たちは皆、高松夢キャプテンが表明した「目標十二位以内」に向け、気持ちを奮い立たせていました。こうした大学を挙げての応援を受けたが、毎試合、最後まで気持ちを切らさずに頑張ります。

第三十九回ピティナ・ピアノコンペティション 全国決勝大会表彰式

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)主催による第三十九回ピティナ・コンペティションが開催され、全国各地で約四万人超の参加者による地区大会にて選ばれた若きピアニストたち



撮影に挑戦する佐藤さん(左)

職員の指導を受けながら撮影と参加者へのインタビュー、番組の編集業務を行いました。その様子はニュース番組「デイリーニュース」で放送され、出演した佐藤さんは「初めての経験で緊張したが、楽しく仕事ができた。将来は人に何かを伝える仕事に就きたい」と語りました。

が八月二十日(木)から四日間、東京での全国決勝大会で熱演を繰り広げました。本学では音楽学部における専門教育、また児童学部および短期大学部保育科における児童・幼児教育者養成の一環として、学生のピアノ教育にとりわけ力を入れており、同コンペティションに協賛しています。ピアニストを目指す全国の若者たちの励みになるようにと考え、その中で特に優秀な演奏者に「聖徳大学川並弘昭賞」を授与しています。



左より安藤有佳さん、原佳之教授、西部裕香子さん、桂田康紀さん

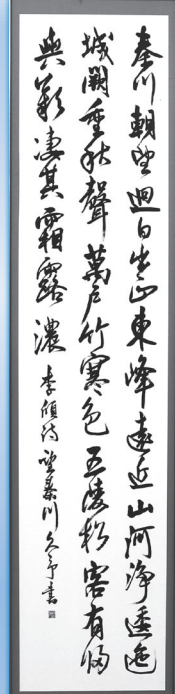
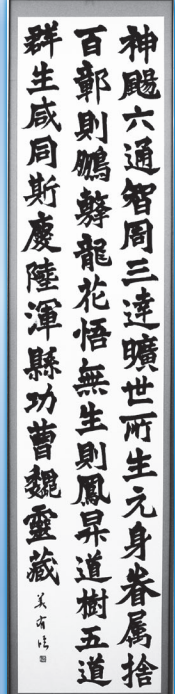
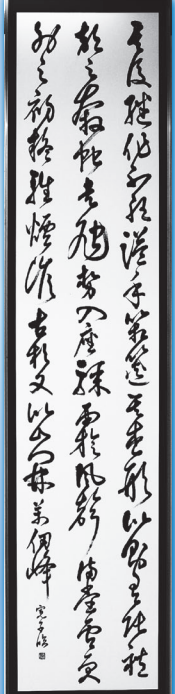
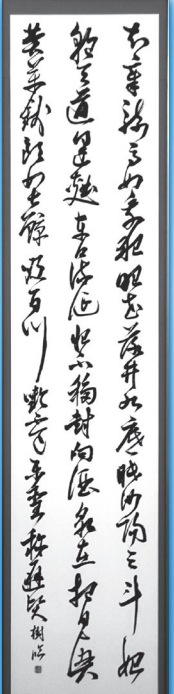
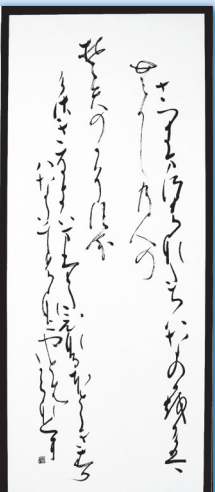
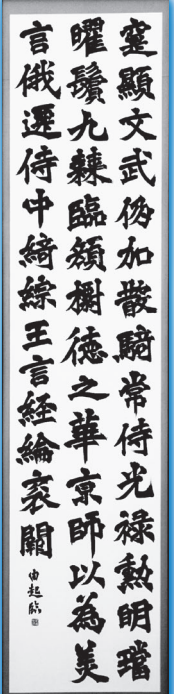
第32回 読売書法展

読売書法展出品者全員入選 書道研究部

読売新聞社が主催する「第三十二回読売書法展」が八月二十一日(金)から三十日(日)にかけて行われ、聖徳大学書道研究部(顧問・文学科吉田洪崖教授)七名が出品し、全員が入選を果しました。

募出品作品約一万八千点という大規模なものであり、出品者全員が入選を果たすという結果は、日頃の練習活動の成果といえます。同展は漢字、かな、篆刻、調和体の四部門で構成され、全国八カ所で開催されています。

- 入選者 (敬称略)
- 四年 市川 皓花(漢字) (写真①)
 - 菊地 由起(漢字) (写真②)
 - 小松崎彩乃(かな) (写真③)
 - 三年 石山 樹(漢字) (写真④)
 - 二年 河野 寛子(漢字) (写真⑤)
 - 高橋 美有(漢字) (写真⑥)
 - 一年 林 久予(漢字) (写真⑦)



① 市川 皓花

② 菊地 由起

③ 小松崎彩乃

④ 石山 樹

⑤ 河野 寛子

⑥ 高橋 美有

⑦ 林 久予

児童学部・櫻井ゼミが「夏休み科学工作教室」を実施

八月二十八日(金)から三十日(日)の三日間、聖徳大学児童学部・櫻井茂教授と同ゼミの三年生十一名が伊勢丹松戸店「サマーファミリーフェスティバル」の企画として、「手作り科学工作教室」を実施し、小学生を中心に多数の参加者が来場しました。

同ゼミによる工作教室は今年で三回目を数え、毎年子どもたちが自分で遊具を作って遊べる人気企画となっています。将来「先生」を目指す学生たちが製作方法を参加者の前で説明し、また、子どもたちの製作を優しくフォローします。



ローソク船を浮かべて

八月二十八日(金)から三十日(日)の三日間、聖徳大学児童学部・櫻井茂教授と同ゼミの三年生十一名が伊勢丹松戸店「サマーファミリーフェスティバル」の企画として、「手作り科学工作教室」を実施し、小学生を中心に多数の参加者が来場しました。

ソク船、びつくり箱、はばたくチョウやトンボ。二日目は、アロマキャンドル、パランストンボ、シヨウノウ船。最終日は、万華鏡、ゲコゲコガエル、アロマスライムを製作します。初日のローソク船では、スチロール板を船の形にし、船の推進を担うパイプを曲げるなど、切ったり貼ったり穴を開けたりという工程が続きます。完成した船を水の上に浮かべると、ローソクの火で温まったパイプ中の水が水蒸気に変化して噴出します。

「試験対策」をテーマにセミナーを開催

聖徳ラーニングデザインセンターでは、六月三十日(火)、七月一日(水)、九日(木)、十日(金)の計四日間

にわたり、西崎勝則教授、宮本友弘准教授、浅岡凜講師による「試験対策の仕方」をテーマとしたランチタイムセミナーを開催しました。

セミナーには、のべ二百三十一名の学生が参加する盛況ぶりでした。参加者のほとんどが一年生で、初めての定期試験への意識が高



セミナーは大盛況

いと同時に、悩みも多いため、まずは試験対策を始めるに当たり確認しておくべき情報、学習計画の立て

方など基礎的な内容を講義し、その後、各学部で小さなグループに分かれ、同じ学部の上級生(学生アドバイザー)から試験について

のアドバイスを受けました。和気あいあいとした空気のなか、これから試験に臨む各科目を実際に乗り越えてきた先輩学生から学習のポイントを教えることができ、学生にとって満足度の高いセミナーになりました。

試験前には、科目の疑問点を解消したい学生でセンターは満員御礼となりました。また、小学校教員採用試験や公務員試験突破、企業への内定を目指す学生は、面接対策や筆記試験対策にも力を入れていま

す。学生それぞれが、自分のための学び方を見出せるよう、教員も全力でサポートしています。

第十八回 後援会静岡県支部総会・静岡地区保護者会を開催

九月六日(日)、第十八回後援会静岡県支部総会・静岡地区保護者会を開催し、



山下めぐみさん

増田早也香さん

大学および短期大学部の保護者の方に多数の出席をいただきました。後援会支部総会および保護者会は、北海道から九州・沖縄まで全国十一支部で毎年行われます。プログラムによる学生生活や就職についての体験発表を行い、後半の保護者会では教員との個別面談の時間を設け、修学状況の確認と今後の進路について、学校と保護者が一体となって考える機会となっています。

卒業生の体験発表では、現在富士市立厚原保育園に勤務されている増田早也香さん(平成二十七年三月児童学科児童心理コース卒)と、伊豆市立中伊豆小学校に勤務されている山下めぐみさん(同小学校教員養成コース卒)に登壇いただきました。

山下さんは教育実習やピアニカで苦学した体験、また後輩へのアドバイスとして、「大学でどう過ごしたか、その結果が現場での自分の態度として表れてくる。立ち振る舞いや人間関係を大切にしてください」と話しました。

個別面談では、保護者の方々が進路について担当の教員と熱心に相談され、将来についてじっくりと考える良い機会になったようです。

同窓会連合会「聖徳学園菊水会」

第十三回評議員会開催

五月三十日(土)、聖徳大学十号館(生涯学習社会貢献センター)にて、聖徳学園菊水会第十三回評議員会および懇親会が開催されました。五月三十日は、前理事長・学園長 川並弘昭先生の命日であることから、開会前に黙祷を捧げてから開始されました。

開会にあたり、川並知子名誉会長から、「この連合会は、各同窓会を束ねた同窓会で、まとまりがたい会ですが、学園が一つになるいい会だと思っております。これからも運営をよろしくお願いいたします」と述べました。



第13回評議員会(10号館11階会議室にて)

評議員会では、平成二十六年度収支決算・事業報告、平成二十七年年度収支予算事業計画の協議が行われ、本年度の事業計画として、第五回聖徳

聖徳学園同窓会連合会・香和会共催 「和の精神と絆の旅」

聖徳学園同窓会連合会・香和会共催の九州研修「和の精神と絆の旅」が、八月十八日(火)から二十一日(金)にかけて行われ、川並知子名誉学園長を団長に、ひじり会、香和会、聖和会、聖知会の総勢二十三名が参加しました。

聖徳学園同窓会連合会は、学園の幼稚園から大学院・専門学校・通信課程など、全十三校の同窓会の連合体で、約十三万人の会員で組織されています。今年度は大学創立二十五周年、短大創立五十周年を記念し、附属女子高等学校・附属取手聖徳女子高等学校が三十年間にわたって実施している

「和の精神と絆の旅」は、九州を舞台に、「和の精神と絆を深める旅」と題して研修旅行を実施しました。最初に福岡県からスタートし、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県と巡りました。原爆投下の地である長崎平和記念公園では戦後七十年を迎えることもあり、平和への祈りを捧げました。また、「信徒発見」の地として知られる大浦天主堂、かつて切支丹迫害の地でもあった雲仙なども訪問しました。宿泊した雲仙新湯ホテルでは、女将さんが「雲仙普賢岳噴火の年にも、



聖徳の皆さんはホテルを訪れて支えてくださいました」と涙して語っておられました。

三泊四日にわたる研修旅行は、明るく楽しいながらも、「和」の精神の重みを感じる旅となりました。

幼児教育専門学校

危機管理週間

危機管理意識の向上を目指して

専門学校では八月三十一日(月)より三日間にわたり「危機管理週間」として防災訓練、防犯講習会、上級救命講習を実施しました。

一日目は防災訓練を実施。訓練を行うことは事前に学生には知らせず、急に災害に見舞われたことを想定した実践的な訓練となりました。非常放送や教員からの避難指示を受けて、しつかりと訓練を終えることができた。防災に関する意識を向上させることができました。

九月一日(火)から二日(水)にかけては、防犯講習会、上級救命講習を実施しました。防犯講習会では、三田警察署より防犯アドバイザーを講師としてお招きして講習を行いました。ひったくりや空き巣への注意、夜道の

歩き方など、女性として必ず気を付けておかなければならないことをお話いただき、これからの学生生活だけでなく、女性として今後過ごしていくなかで必要な防犯の知識を得ることができました。

三日目の九月二日(水)には、上級救命講習も併せて行いました。東京防災救急協会より講師をお招きし、合計で八時間という長時間にわたる講習となりました。心肺蘇生法、三角巾を使った止血や骨折の際の対処法、また、子どもに対する救命措置など、多岐にわたる訓練を行い、充実した内容となりました。幼児教育者・保育者になるための学校であることから、東京防災救急協会より子どもの人形を多く準備していただき、学生たちもしっかりと訓練することができ、救命についての知識や技術を習得することができました。

専門学校では、今後も学生の危機管理意識の向上を目指して、新たな取り組みに挑戦していきます。



例年より少し涼しい一日となった八月二十三日(日)、聖徳大学幼児教育専門学校同窓会ひじり会は、第三十四回リズム講習会を開催しました。

講習会は聖徳大学短期大学部保育科・中野真紀子教授の指導のもと、聖徳大学体育館において行われ、参加者は思い切り身体を動かして、現場ですぐに役立つ遊戯を学びました。

参加者はすべて、現役の幼稚園・保育園の先生たちです。中には子どもに戻ったように瞳をきらきらさせながら身体を動かし、たくさん汗をかいて踊っている先生姿も見られました。

リズム講習会は同窓生であるか否かに関係なく、保育を学ぶ学生や一般の方など、誰でも自由に受講できる講習会です。毎年一度、定期的に開催していますので、興味を持たれた方は奮ってご参加ください。

専門学校同窓会

ひじり会

活動報告

第三十四回リズム講習会を開催



講習会では、今年度も自由な発想で、誰か一人の先生から学んだことを、みんなで共有し、楽しみながら学ぶというコンセプトで、毎年一度、定期的に開催していますので、興味を持たれた方は奮ってご参加ください。

研究所リレー連載

所長の伝言板 第30回

言語文化研究所長

研究プロジェクト

「比較言語文化論」

今年度のテーマが決定



所長 林 史典

言語文化研究所には研究プロジェクト「比較言語文化論」があります。これは、日本語・韓国語・中国語・英語(ゲルマン語系・フランス語(ロマンス語系)の五言語をそれぞれ母語とする本学専任教員および客員研究者を研究員として、各母語に認められる言語事象を比

比較考究し、共通点と特異点を明らかにした上で、その文化論的意味を解明しようとするプロジェクトです。初年度(二〇一二年度)は「親族名詞と親族呼称」、翌年度は「味覚語彙と味覚表現」、昨年度は「身体名詞とその比喩的用法・慣用表現」をテーマにしました。

四年目となる本年度のテーマは「動物のイメージと表現」。ペットとしての動物、家畜としての動物、野鳥・野獣としての動物など、それぞれの言語はそれらに

どんなイメージを持ち、また、どんな表現を生み出しているのでしょうか。

第一回目の研究会は七月三十日(木)に開かれ、ピーター・ヴィンセント先生、アラン・メドゥズ先生から英語における動物のイメージと表現について報告がありました。研究会は毎月一回のペースで行われ、二〇一六年二月には総まとめのシンポジウムが開催される予定です。

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 13

～お礼～

9月27日(日)に開催されました第21回関東大学女子駅伝対校選手権大会出場にあたり、選手にご声援いただきました関係各位に感謝申し上げます。今後も引き続き、さらなる高みを目指して日々、練習に邁進する所存です。ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。大会結果は陸上競技部ホームページをご覧ください。

<http://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page6>

～11月29日(日)第2回日光いろは坂女子駅伝大会～

今年も16大学(18チーム)が一堂に会し、初冬の日光路を彩ります。本学の「聖徳なでしこ」も6区間・総距離23.4kmの難コースに挑み、昨年以上の成果を出すべく、「和」をもって棒を繋ぎ「いろは坂」を駆け上ります！

選手たちへのご声援をお願いします。



附属女子中学校・高等学校

イギリス語学研修を終えて

毎年希望者を募ってイギリスのオックスフォードで英語の授業を受ける「イギリス語学研修」。今年も本校生徒十三人が、取手聖徳女子中高の生徒たちとともに、二週間余りにわたるこの研修に参加しました。

期末考査が終わったばかりの七月七日(火)、羽田空港を発って一路、イギリスへ。他国の学生と共にオックスフォード近郊のブルックス大学の寮に入寮し、クラス分けテストを経た後、英語の学習に入りました。

現地の先生が行ってくれた授業は、毎日午前中の四コマで、若者が興味関心のある単語を手掛かりに連想



した事項などを英語で説明する実践的な授業が展開されました。私たち日本人は非常に真面目に授業を受けて熱心です。午後は他国の生徒を交えてのスポーツ大会や、オックスフォードの市街に出ての見学やショッピングなどで、習い覚えたばかりの英語を使って頑張

ラジオ局で職場体験

附属女子中学校二年生では、進路学習指導の一環として、毎年夏季休暇中に職場体験を実施しています。本年度は、病院・銀行・ホテルなど幅広い業種九社のご協力により実施することができました。生徒たちは自分の将来の希望や興味に合わせて、一人一社以上の体験



先を選択し、事前にホームページや業種を調べ参加しました。七月二十三日(木)、海浜幕張にある株式会社ベイエフエムを生徒七名が訪問しました。同社は千葉県を拠点として東京ベイエリア約三千万人に向けて音楽・情報・エンターテインメントを発信する、エリア内シェアナンバーワンを誇るFMラジオ局です。

また、エクスカージョンと呼ばれる小旅行では、北部のスコットランドのエジンバラへ二泊三日で行くのはじめ、シエイクスピアの生地ストランドフォード・アボン・エイボンやチャールズの生家ブレナムパレスの見学、ロンドン観光、大英博物館見学など盛りだくさんで楽しめました。

その後、ラジオの生放送を見学しました。番組DJのANNAさんは本校の卒業生で、在学中からラジオDJになるという夢をかかなるために、放課後にスクールに通ったり、たくさん練習と努力をしてきたというお話を、生徒たちは目を輝かせながら熱心に聞いていました。目標を持って、そのための努力を継続することの大切さを教えていただき、夢を実現させた先輩を目の前にして、大変大きな刺激を受けた様子でした。

十一月には、各企業での体験談を一年生に向けて発表します。「働く」ということを具体的に考え、自分たちのやりたいことを少しずつ明確にしていくことで、今後の進路選択へと役立ててほしいと願っています。

取手聖徳女子中学校・高等学校

C級の部 個人戦で優勝・第三位を獲得

七月十九日(日)、二十日(月・祝)に滋賀県大津市にある近江神宮・近江勸学館にて、第三十七回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権が行われ、本校かるた部から十一名が出場しました。選手権は毎年、この大会予選を突破し、「茨城県代表の取手聖徳」として近江神宮を訪れることを大きな目標としています。卒業生の思いを受け継ぐプレッシャーを感じながらも練習に励み、念願の三度目の出

場を果たしました。試合は各都道府県の強豪チームによるトーナメント戦が行われるため、第一試合から気を抜けません。団体戦では最初に埼玉県の高校と対戦。粘り強さが功を奏し、三対二で勝つことができました。次の千葉県の高校との二回戦は二対三、札数枚の僅差で負けてしまいましたが出場できただけで満足だったこれまでから一歩前進し、試合でコマを進めることができました。



個人戦では、C級の部で高校一年の白水凛乃さんが優勝、高校二年の澤部美咲さんが第三位という好成績をおさめ、ともにB級(二段)への昇級が決定しました。今回の大会で得たモチベーションや課題をもとに、秋以降の大会に取り組んでまいります。

勉強合宿を実施しました

取手聖徳女子高等学校では、八月十七日(月)から二泊三日の日程で、つくばグランドホテルにて実力アップセミナー勉強合宿を実施しました。

今回の合宿も例年と同様に受験基礎力のアップを目標とし、国語、数学、英語の三教科に特化して、既習事項の確認から受験問題の演習まで幅広く学習を進めました。講義は九時から二十二時まで行い、以降二十三時まででは自学自習としました。期間中、生徒たちは集中力を維持して真剣に受講、さらに自学自習の時間には、規定の時間を大きく超えて取り組む姿が多く見られるなど、皆が心血を注いで学習をしていました。



満ちた合宿となりました。特に、音楽科の生徒がこの勉強合宿に参加するのは初めてのことです。このことから取手聖徳の生徒たちの勉強に対する気持が上がってきていることがうかがえます。

附属小学校

「次まで待てない!」 わくわくオープンスクール

今年で五年目となる附属小学校「わくわくオープンスクール」が、七月十九日(日)、八月二十三日(日)の二日間行われました。七月は六十四組、八月は五十四組、のべ三百十五名の親子が参加しました。



理科実験「葉脈標本づくり」

特に人気があったのは、年長園児を対象とした「入試問題体験」です。七月は「常識・数」、八月は「記憶・図形」のペーパーテストが行われました。親子一緒ではありますが、本番さながらの体験となりました。このテストを経て、園児たちの本番に向けた緊張が少し減りました。

も和らげばと思います。次に人気があったのは、理科専科教諭と佐藤幸雄校長による「理科実験」でした。七月は酸・アルカリの理解につながる「一瞬で色が変

わる不思議なぬり絵」、八月は葉脈を取り出してしおりをつくる「葉脈標本づくり」。難しそうな作業にも、一所懸命取り組んでいる園児の姿が印象的でした。聖徳学園の特色の一つとして、礼法体験「煎茶のおもてなし」も行われました。お盆にのせたお茶を、今習ったばかりの作法で運ぶ姿に、目を細める保護者もおられました。この他にも「運動」「英語」「和太鼓」「パフェづくり」など魅力的なプログラムが実施されました。食堂では、厨房の斎藤店長自慢のデザートも振る舞われ、大好評でした。

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

夏休み作品展

夏休みは、子どもたちにとっていろいろな体験をすることができる機会でもあります。三田幼稚園では、夏休みの間に体験したことや作品として仕上げ、親子で協力して作り上げたもの、子どもだけで最後まで仕上げたものなどを幼稚園に持ち寄り、夏休みの思い出をみんなで作る「夏休み作品展」を、毎年二期が始まってすぐに行っています。今年も九月五日(土)に行いました。



それぞれの自信作を前に

作品を作るにあたり、入園間もない三歳児は、できることがまだ少ないため、保護者が中心になって折り紙を折ったり、牛乳パックを使った車を作ったりして

います。四歳児になると、夏休みの家族旅行の思い出を作品にしたものや、三歳児より細かく作り上げた作品が多くなってきます。五歳児になると、子どもたちの中にも「こんなものを作ってみたい」という思いが強くなるためか、親子で相談をしながら乗り物や遊べるおもちゃなどを作り出す。紙一杯に書き上げた習字などの作品もあり、子どもたちの話から苦労や工夫が伝わってきます。展示された各学年さまざまな作品を通して、子どもたち一人ひとりの夏休みの思い出が伝わってきます。長い休みの中で多くの経験をし、子どもたちが成長していることが感じられる機会となっています。

「敬老の日の集い」を行なつて

聖徳学園八王子中央幼稚園

八王子中央幼稚園では七月、「敬老の日の集い」を行いました。

おじい様、おばあ様を幼稚園にお招きし、うたやサカホーンと合奏、遊戯を見ていただいたり、一緒にリズム遊びやカードゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしました。

子どもたちは、「遠くからおじいちゃん、おばあちゃんに来てくれるんだよ」と嬉しそうに話していました。当日は年長児が玄関で挨拶係やプログラム渡し係を行い、年中児も一緒に案内係を務め、元気よく声を掛けると、自分の係の仕事を一所懸命行いながら迎え入れる姿が見られました。

秋の遠足 「いんもくの国」

聖徳学園多摩中央幼稚園

多摩中央幼稚園では、年少・年中組の秋の遠足は「こどもの国」へ行きます。十月六日(火)の遠足を、園児たちは今から楽しみにしています。

こどもの国には広い原っぱがあり、そこで体をいっぱい動かしてリズム遊びを行います。その後、年少組の桜組は、広場に残って鬼ごっこやかけっこをして思いっきり走って遊び、年中組は散策に出かけます。幼稚園にはない秋のいろいろな植物に触れ、初めて見る植物に「きれいな花だね!」「たくさん実がついてるね!」と興味を持つ園



「肩たたきのうた」を歌いながら

会が始まると、おじい様、おばあ様は優しい表情で、温かく子どもたちの出し物を見てくださっています。子どもたちも嬉しそうに自信を持って発表する姿が見られました。その後、一緒に手遊びやリズム遊び、カードゲームをしたり、「肩たたきのうた」を歌いながら肩たたきをするなど、会場内は笑顔でいっぱいになり、とても和やかな雰囲気になりました。子どもたちは一緒に



池の橋を渡って(昨年度の様子)

児たちが多くいます。池の橋を渡り少し歩くと、アスレチックがあります。大きな滑り台や珍しい遊具があり、「見て見て!こんな高く登ったよ!」と声を出す園児もいれば、「これはどうやって遊ぶのかな?」と友達同士考えながら遊ぶ場面もあります。園児たちが一番楽しみにしているお弁当の時間にな

聖徳大学附属幼稚園

一人で泊まれたよ!

八月四日(火)から五日(水)にかけて、五歳児年長組が毎年恒例のお泊まり保育を行いました。いつもとは異なる夕方からの幼稚園。玄関では「行ってきます!」と期待に胸を膨らませて張り切っている園児、不安顔で保護者から離れられない

に遊んでいた大満足な様子で、表情や活動に祖父母の方をいたわる気持ちが見られていました。「敬老の日の集い」は、おじい様、おばあ様と過ごせる一年に一度の行事であり、おじい様、おばあ様に幼稚園の子どもの様子を聞いていただける、大切な行事になっています。

夏のドリームキッズ(預かり保育)

聖徳大学附属第二幼稚園

附属第二幼稚園では、保育時間外に園児をお預かりする「ドリームキッズ」という制度を設け、日曜祭日以外、ほぼ毎日七時から十九時まで行われています。平日はもちろん、夏休みも多くの園児が利用されており、特に今年は、夏休み中すべ

ると、普段の給食では食べるのが遅い子ども、保護者の方で作ってくれたお弁当となるとあっという間に平らげてしまいます。遠足は、幼稚園では味わうことのできない、たくさんさんの経験をすることが出来る貴重な行事となっています。

園児などさまざまな表情が見られました。

まずはクラスの友達と先生に挨拶を交わして、同敷地内にある大学構内を散歩。普段歩かない夕方の大学は、園児たちにとって新鮮に映ったようです。待望の夕食は美味しいカレーをいただきます。何だか園児たちはソワソワ。話題はこの後のキャンプファイアのことを持ちきります。インディアンに「仲良しの火」を点火してもらい、花火大会にも参加して楽しい時間を過ごしました。

夜の幼稚園はドキドキわくわく、パジャマに着替えてみんな揃ってホールで就寝です。少し寂しそうな園児もいましたが、先生に優しくさすってもらうと次第に夢の中へ：気持ち良く眠る園児たちの顔はとても愛



みんなでお布団運び

たつた一日親元を離れてのお泊り保育でしたが、園児たちの表情は自信に満ち溢れ、キラキラと輝いていました。この経験が園児たちを大きく成長させ、自信へとつながったことでしょう。いつまでも幼稚園のことを忘れず、にこにこ笑顔と素直な心を持ち続けて欲しいと思います。



絵の具を使った遊び

ての日に予約が埋まりました。仕事を持つ母親が多くなってきたことや、家庭で過ごす夏休みから、幼稚園で先生や友達と過ごす夏休みを希望する保護者のニーズが年々高まってきている表れだと感じます。園では、水遊びをしたり、絵の具を使った遊びをしたり、夏ならではの活動を多く取り入れ、幼児の笑顔があふれています。満三歳児クラスから五歳児クラスまで全学年が一緒に活動を楽しくするため、年齢の高い幼児が低い幼児に「やってあげようか」と優しく話しかける姿も見られます。異年齢の関わりを通して、思いやる気持ちや憧れの気持ち、感謝の気持ちが膨らみ、責任感が高まったり、協調性が

聖徳大学附属成田幼稚園

楽しく踊った盆踊り会

夏期保育最終日の八月六日(木)に、成田幼稚園では「盆踊り会」が行われました。園児たちは普段とは違う夕方からの幼稚園にドキドキわくわくしながら、浴衣や甚兵衛を着て親子揃って登

食べていると「今、インディアンさんから電話があり、『仲良しの火』を持って飛行機で浦安幼稚園に向かってるそうです」と放送が流れ、園児たちは「やった!」「楽しんだね!」と大興奮。「楽しんだね!」と大興奮。夕食を終えて園庭に出て空を見上げ、「あの飛行機かな」とインディアンが来るのを楽しみにしている園児たち。司会の先生から「火」の由来についての話を聞いてみると、突然太鼓の音と雄叫びが聞こえ、メラメラと燃える松明と共にインディアンが走って園庭に入ってきました。何が起こったのか分からず体が固まってしまったり、怖くて友達と寄り添って園児も見られました。先生がインディアンに「松組のお友達が手紙が届いたの、お願いしました。」

「仲良しの火」が届いたよ! 年長児松組宿泊保育

浦安幼稚園で行われている「なつのようちえん」は、夏ならではの行事を保育に取り入れていきます。年長五才児は八月三日(月)、四日(火)の二泊二日で宿泊保育を行いました。

園児たちが一番楽しみにしているのが、キャンプファイアです。「なつのようちえん」が始まると、「太陽にとぶ矢」の絵本の読み聞かせで、園児達はキャンプファイアを行うときに一番必要な「仲良しの火」のを知り、「インディアンさんにお手紙を書いたので届けてください」と園長先生にお願いしました。当日、夕食の「聖徳カレーライス」をみんなでそろって



「日本の夏」を感じながら...

園してきました。先生方に「かわいいね」「かっこいいね」「ママに着せてもらったの?」と声をかけられると、少し照れながら嬉しそうに表情を浮かべました。浴衣を着たお母様方も多く、やぐらに和太鼓、提灯と日本ならではの盆踊りの雰囲気を感じられたと思います。やぐらの周りに親子で輪になり、まず始めに聖徳幼稚園オリジナルの「聖徳音頭」を踊りました。そして、松組園児の「はじめの言葉」で盆踊り会の幕開けです。聖徳音頭に続いてアンパンマン音頭、パクパク音頭、ドラえもん音頭、うなりくん音頭を踊りました。中でも、成田市観光キャラクター「うなりくん」の「うなりくん音頭」は園児たちから人気が出ました。

「仲良しの火」が届いたよ! 園庭に登場したインディアン



園庭に登場したインディアン

「仲良しの火」が皆の心の中に灯り続けるよう、「遠き山に日は落ちて」をハミングしながら静かに火が消えていくのを見つめつつ、幼稚園の思い出がいっぱい園児たちの心の中に灯り続くことを願いました。

「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十七年七月～八月ご寄付分

ご協力ありがとうございます

Table listing donors and their contribution amounts for the 80th anniversary fund. Includes categories like '取引業者関係', '大学後援会関係', '通信教育部関係', etc.

ご寄付のお申し込みについて お電話またはメールで、ご住所とお名前をお知らせください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。

聖徳祭にて 通信教育部 入学相談実施! 聖徳大学通信教育部では、十一月七日(土)・八日(日)、聖徳祭にて入学相談を実施します。

募金だより

学園創立八十周年を記念して開始いたしました「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」は、平成二十七年八月末現在までに二十九十八件のご協力をいただきました。

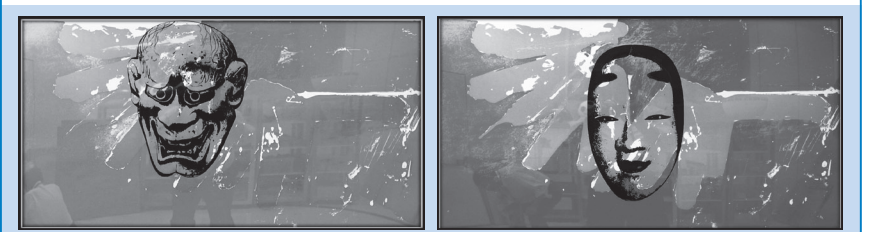
いる募金です。「本物教育」が実践できる環境と制度を整えるため、①施設設備の充実 ②環境事業の推進 ③奨学金の設置 の三つを柱として募金を実施しています。

五年計画にて実施している本募金は、今年で三年目を迎えました。幼稚園から大学院までの各教育機関において、皆様からの募金を活用し実施した事業は数多くあります。

Table for '聖徳大学通信教育部 入学説明会のご案内' with columns for date, location, venue, time, and district.

Table for '平成27年度 大学・短期大学部/後援会支部総会・保護者会 開催日程' listing dates, times, and venues for various association meetings.

聖徳大学創立25周年・聖徳大学短期大学部創立50周年記念 聖徳大学 新収蔵品展 「利根山光人 リトグラフ」



会期/ 9月7日(月)～10月31日(土) 9:00～17:00 会場/ 聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

平成28年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] (博士後期課程)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 研究生入試.

〈博士前期課程〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 研究生入試 (留学生除く), 私費留学生特別入試, 研究生 (留学生) 入試.

〈専門職学位課程 (教職研究科)〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試, 教職大学院連携協力校 (園) 特別奨学生入試.

聖徳大学児童学部 (女子) / 心理・福祉学部 (女子) / 文学部 (女子) / 人間栄養学部 (女子) / 音楽学部 (女子) / 聖徳大学短期大学部 (女子)

Large table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 地元密着特別奨学入試, エリア特別奨学入試, 特別奨学生入試, 特別指定校推薦入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 自己推薦入試, 特別奨学生入試 (科目試験方式), 特別奨学生入試 (センター試験方式), 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, 特別奨学生入試 (科目試験方式), 特別奨学生入試 (センター試験方式), 全学全学科統一入試 (科目試験方式), 全学全学科統一入試 (センター試験方式).

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, [音楽学部 演奏学科・音楽総合学科] 実技特別選抜入試, エリア特別奨学入試, 地区・ターミナル試験場, 同窓会・後援会推薦入試, 帰国子女特別入試, 社会人特別入試 (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試 (アスリート・サポート) 特別奨学推薦入試, 私費留学生特別入試, 私費留学生特別奨学入試.

聖徳大学看護学部 (女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 地元密着特別奨学入試, エリア特別奨学入試, 特別奨学生入試, 特別指定校推薦入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 地元密着特別奨学入試, エリア特別奨学入試, 公募推薦入試, 特別奨学生入試 (科目試験方式), 特別奨学生入試 (センター試験方式), 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, 特別奨学生入試 (科目試験方式), 特別奨学生入試 (センター試験方式), 全学全学科統一入試 (科目試験方式), 全学全学科統一入試 (センター試験方式), 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, 地区試験場 (会場: 秋田、福島、新潟), 地区試験場 (会場: 仙台、新潟).

聖徳大学児童学部 (女子) / 心理・福祉学部 (女子) / 文学部 (女子) / 人間栄養学部 (女子) / 音楽学部 (女子) 編入学、聖徳大学短期大学部専攻科 (女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 特別奨学推薦入試.

聖徳大学幼児教育専門学校 (女子) (前期・後期入試)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試, 保育所・幼稚園園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 大学生・短大生 (含専修学校) 特別入試, 社会人特別入試, 一般入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 第一志望入試, 第1回入試, 第2回入試, 特待生選考入試, 第3回入試, 普通科, 音楽科.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 推薦・専願入試, 一般入試・学力特待選考, 推薦入試, 一般入試, 県外生対象併願推薦型入試.

聖徳大学附属小学校 (共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部進学入試, 専願入試・I期入試, II期入試, III期入試・28年度4月編入.

聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付期間, 選考日. Rows include 附幼, 附二幼, 成田幼, 浦安幼.

聖徳学園三田幼稚園・八王子中央幼稚園・多摩中央幼稚園

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付期間, 選考日. Rows include 三田幼, 八王子幼, 多摩幼.

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

聖徳大学 (女子)・聖徳大学短期大学部 (女子) お問い合わせ: 0120-66-5531 (直通)

オープンキャンパス ★学食無料体験あり ▶10月11日 [日] ▶11月29日 [日] 聖徳大学 松戸キャンパス

通信教育部 (大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200 (直通)

10月生出願締切り迫る! この秋からスタートするラストチャンス!

聖徳大学 通信教育部 児童学部 児童学科 心理・福祉学部 心理学科 社会福祉学科 文学部 文学科 聖徳大学短期大学部 通信教育部 保育科 聖徳大学大学院 通信教育課程 児童学専攻 児童学専攻 (博士前期課程 / 博士後期課程) (大学・短大) 10月生願書受付について 出願書類の受付は、期間中は随時行っています。 願書受付期間 7月1日(水)~10月31日(土)【必着】 選考方法 書類選考のうえ入学を許可します。(入学試験はありません) ※聖徳大学大学院通信教育課程10生は受付は終了しました。平成28年度春学期入学生募集要項は、10月1日より配布予定です。

聖徳大学幼児教育専門学校 (女子) お問い合わせ: 03-5476-8811 (代)

オープンキャンパス 予約不要 ▶10月3日 [土] 14:00~ ▶11月3日 [火・祝] 14:00 ▶11月14日 [土] 14:00~ 夜のキャンパス見学ツアー 要予約 ▶10月15日 [木] 18:30~ 入試必勝講座・個別相談会 予約不要 ▶10月31日 [土] 14:00~ ▶11月29日 [日] 14:00~

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで (インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811 (代)

聖徳フラッシュ 第80号 発行人/川並弘純 編集/総務課

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 15.10.1 re (18,5)

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0800-800-8442 (入試広報室直通)

進学相談会 ▶10月11日 [日] 9:30~ ▶10月24日 [土] 9:30~ ▶11月14日 [土] 9:30~ 学校説明会 ▶10月18日 [日] 9:30~ ▶11月8日 [日] 9:30~ ▶11月29日 [日] 9:30~ (中学校のみ)

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111 (代)

オープンスクール 【入試対策編】 ▶11月8日 [日] ▶11月22日 [日] ▶12月13日 [日] 音楽講習会 ▶10月11日 [日] 10:00~16:00 学校見学会 ▶10月10日 [土]・17日 [土]・24日 [土]・31日 [土] ▶11月15日 [日] 10:00~16:00 ※時間は9:00~15:00の間にお選びください。

聖徳大学附属小学校 (共学) お問い合わせ: 047-392-3111 (代)

入試説明会 ▶11月8日 [日] 【II期対象】 10:00~11:30 ▶12月12日 [土] 【III期・編入対象】 10:00~11:30

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かの森 秋の宿泊予約承り中!! 予約料金は、プランはホームページをご覧ください。 http://www.kasuganomori.com/ ご予約はお電話にて 電話: 0267-52-2111

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門 1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913